



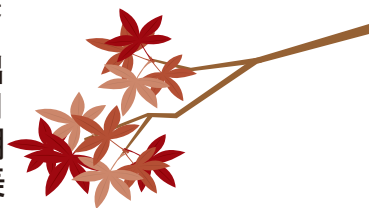
1	火 友引	16	水 赤口
2	水 先負	17	木 先勝
3	木 仏滅	18	金 友引
4	金 大安	19	土 先負
5	土 赤口	20	日 仏滅
6	日 先勝	21	月 大安
7	月 友引	22	火 赤口
8	火 先負	23	水 先勝
9	水 大安	24	木 友引
10	木 赤口	25	金 先負
11	金 先勝	26	土 仏滅
12	土 友引	27	日 大安
13	日 先負	28	月 赤口
14	月 仏滅	29	火 先勝
15	火 大安	30	水 友引
		31	木 先負

目次

表紙絵『遠く離れていても』		Y O S I
ご縁から始まる未来		出口明美
MLBドジャースに学ぶ強い組織づくり		山本直人
次代に残したいこと		白川秀二
常に挑戦者として		黒田太郎
まほろば中川		8
まほろば稲西		9
人間とは楽を求めて苦しむ動物である		林川英昭
暮らしのはなし		加藤裕之
事業所案内・求人情報		11

ご縁から始まる未来

代表取締役社長 出口明美



やっと秋の気配を感じる様になりました。毎年毎年、気温はどんどん高くなり三十七度や三十八度は当たり前になってしまいました。ともあれお互い今年の夏も無事に過ごせたことに感謝ですね。九月八日に起きた線状降水帯にも驚きました。利用者さん宅から帰る時で丁度ピークの時間に当たってしまいました。何処の道路を通っても冠水していて叩きつける雨で視界はほとんど無くアクセルを踏み込んでも水の重さで前に

なかなか進みません。おまけに対向車が通ると波のような水しぶきがざぶんと襲ってくるのです。どうなるかと思いましたが、軽自動車さわやかからいふ号が健気に頑張ってくれ、エンストする事もなく無事に会社に戻る事が出来ました。自然の力はすごいですね。しかし目に見えない力もすごいです。同行援護の新規契約に來られたお二人の話です。初めてお会いしたのにとっても気さくで色々と話に花が咲きました。その

話の中でとても不思議？で素敵な話がありました。二人とお酒が大好きとのこと。ある年の十二月三十日に今年最後とふらりとあるバーに入ったそうです。それから一年後の同じ日に同じバーに行ったところ去年も来ていた教授に偶然会い意気投合し、今では一緒に海外旅行にも行く仲だそうです。それから毎年十二月三十日は出会った記念日として、あのバーで楽しいお酒を酌み交わしているそうです。本当に良いご縁がありました。と笑顔で話して下さいました。

私が以前お世話させていただいたOさんにも不思議なご縁がありました。長年治療院をされていた男性です。治療院を辞め、足腰が弱ってきたので近所を一時間ほど歩くケアを依頼されました。道すがら若かった頃や家族のことなどを話しながらの散歩です。ある日「ここはどの辺だね？」と尋ねられるので「〇〇の店の角です」と答えると思いつき出話を始められました。「この角をだいたい奥に行った所に、すまちゃんという陽気なおばちゃんのお得意さんがいてね。甥が急に目がみえなくなつて落ち込んでいたので盲学校のことを話してもらえないかと一、二回話に行つたんだよ。入学の時に本人がお礼に來てくれたけど、それから直ぐにすまちゃんは亡くなつてしまったからどうなったのかなあ」と言われるのです。私は驚きました。すまちゃんと言うのは私の父方の叔母で甥というのは学生の時のオートバイ事故が原因で事故から十数年後に急に失明してしまつた歳の離れた従兄だったのです。

訳を話し「自宅で治療院を開業して元気にやつていたのですが、昨年肺がんで亡くなりました」と報告するととても残念がつて下さいました。きちんとお礼が言えなかったことを叔母と従兄が悔やみ私にOさんとのご縁を繋いでくれたのかも知れません。偶然と言つてしまえばそれまでですが、出会えたことには何か意味があるのかも知れせんね。さわやかからいふに出会えたこと代表に出会えたこと、会社の皆さんヘルパーさん利用者さん、いろいろな人とのご縁をいただきました。その一つ一つに意味があるのなら素敵ですね。これからどんなご縁がありどんな未来が待っているのか楽しみにしてきました。皆さんにも私にも良い出会い良い未来が訪れますように！

M「ドジャースに学ぶ強い組織づくり

J A愛知厚生連海南病院 名誉院長 山本直人

いまだ暑い毎日がつづくこの頃ですが、皆さまお元気のことと存じます。このコラムがとどく頃には少しは秋めいているといいたいが、さて、今回にて私のコラムは最終回となります。長年にわたりお読みいただきありがとうございます。また、コラムを依頼・場の提供をいただいたさわやからいふ白川代表さまには、こころより感謝いたします。今回は、強い組織づくり（組織は、会社、チーム、身近なところでは町内会。友人サークル、などいかなる組織にでも応用ができることと思えます）をテーマとして、最終回の、私のメッセージとさせていただきます。

さて、メジャーリーグベースボール（MLB）のロサンゼルス・ドジャースは、世界最高峰のプロスポーツチームの一つとして知られています。その強さは、大谷翔平選手や山本由伸投手、あるいはMVPトリオのムーキー・ベッツ選手、フレディ・フリーマン選手といったスター選手の存在だけによって支えられているわけではありません。それほど優秀な個人が集まったとしても、組織として機能しなければ継続的な成果を生み出すことはできません。ドジャースが長年にわたり高いレベルで勝ち続けている

背景には、「強い組織づくり」に対する明確な哲学があります。その根底にあるキーワードとして私が注目したのが、「信頼」「リスペクト」そして「言い訳をしない文化」です。

まず最初に、強い組織は「信頼」から始まると考えますし、組織において最も重要な土台は信頼ではないでしょうか。信頼とは単に仲が良いことではありません。互いの能力や役割を認め、この人なら任せられる」と思える状態を指します。ドジャースでは監督、コーチ、フロント、選手がそれぞれの専門性を尊重しながら、自らの責任を果たしています。例えば、選手がスランブに陥ったとしても、すぐに人格を否定したり感情的に責めたりすることはありません。なぜ結果が出なかったのかをデータや映像を活用して分析し、改善策を共に考えます。そこには「失敗しても仲間が支えてくれる」という安心感があります。企業でも同

じかと思えます。失敗をした社員を責める文化が根付いている組織では、人は挑戦を避けるようになります。失敗を恐れるあまり、新しい提案も改善活動も生まれません。一方で、失敗から学ぶことを重視する組織では、社員は積極的に挑戦し、成長し続けることができるのでは。信頼は一日で築けるものではありません。しかし、日々の約束を守ることで、誠実なコミュニケーションを続けること、困った時に支え合うことによって少しずつ積み上がっていきます。強い組織は、この信頼という見えない資産を何よりも大切にしていると考えます。

次に、リスペクトが多様性を力に変える視点も大切です。ドジャースには様々な国や文化的背景を持つ選手が所属しています。アメリカだけでなく、日本、韓国、中南米など世界中から優秀な人材が集まっています。異なる価値観を持つ人々が集まれば、当

然ながら考え方の違いも生まれます。しかしドジャースは、その違いを問題として捉えるのではなく、強みとして活用しています。その根底にあるのがリスペクトの文化ではないでしょうか。リスペクトとは単なる礼儀ではありません。相手の存在や経験、価値観を尊重する姿勢です。たとえ意見が異なっても、「相手にも理由がある」と理解しようとすることです。これは、職場でも同様だと思います。年齢、役職、経験、専門分野が異なるメンバーが集まる組織では、多様な視点が存在します。時として意見が衝突することもあるでしょう。

しかし、その対立を排除するのではなく、建設的な議論へと変えることが重要です。リスペクトのある組織では、人は安心して意見を述べることができます。そして様々なアイデアが生まれ、組織全体の創造性が高まります。逆に、相手の意見を否定したり、立

場によって発言の価値を判断したりする組織では、多様性は失われます。結果として新しい発想が生まれず、変化に対応できなくなってしまう。強い組織とは、優秀な人材を集めるだけでなく、一人ひとりが持つ能力を最大限に引き出せる環境をつくる組織なのです。

そして3番目のキーワードの「言い訳をしない文化」が成果を生み出し、ドジャースの強さを支えるもう一つの重要な要素です。シーズン中には多くの困難があります。怪我人が出ることもあります。過密日程に苦しむこともあります。審判の判定に納得できないこともあるでしょう。しかし、本当に強いチームはそれらを敗北の理由にしません。

なぜなら、それらは自分たちではコントロールできない要因だからです。

言い訳とは、多くの場合、自分以外に責任を求める行為

です。景気が悪いから結果が出ない。他部署が協力してくれないから進まない。人が足りないからできない。もちろん、それらが事実であることもあります。しかし、それ言うだけでは何も変わりません。強い組織は「では、自分たちに何ができるのか」という思考に切り替えます。コントロールできないことではなく、コントロールできることに集中するのは、ドジャースの選手たちは、一打席、一球に全力を尽くします。結果だけではなく、自分が今できる最善の準備と行動に責任を持っています。企業においても同じですね。市場環境や競合の動向を変えることはできません。しかし、自分たちのサービス品質、顧客対応、改善活動は変えることができます。当事者意識を持ち、自ら課題解決に取り組む文化こそが、組織を継続的な成長へ導くと考えます。

信頼、リスペクト、言い訳

をしない文化という、3つのキーワードをもとに強い組織づくりを考えてきましたが、さらにこれらを組織に定着させるためには、リーダーの存在が欠かせません。どれほど立派な理念を掲げて、リーダー自身が実践していなければ組織には浸透しません。部下にリスペクトを求めながら、自らは相手を軽視する。挑戦を促しながら、失敗した部下を厳しく責める。他責思考を戒めながら、自身は環境や他人のせいにする。これでは誰もついてこないでしょう。ドジャースでは、監督やベテラン選手・特に大谷翔平選手が自ら模範を示しています。だからこそ文化が維持され、次の世代へ受け継がれていくのです。組織文化は言葉ではなく行動によって形成されます。リーダーの背中こそが、最も強力な教育なのです。MLBドジャースの成功は、単なる戦術や個人能力の結果だけではないかと思われま

す。野球という組織・チームで戦う、その背景には、「信頼」「リスペクト」「言い訳をしない文化」という強固な組織基盤があります。互いを信頼し、互いを尊重し、困難に直面しても他責に逃げない。その積み重ねが個人の力を最大化し、組織全体を強くしていくのです。私たちの職場やチームにおいても、この考え方は大いに参考にすべき大切なことと思われま。環境や他人が変わるのを待つのではなく、まず自分自身が信頼を築き、リスペクトを示し、言い訳をやめる。そして仲間と共に前向きな行動を積み重ねていく。そのとき初めて、組織は単なる集団から、継続的に成果を生み出す「強い組織」へと進化していくのです。

尚、コラム作成にあたり、資料収集、文章作成に生成AIを使用したことを追記させていただきます。



J A愛知厚生連
海南病院 名誉院長 山本 直人
略歴及び公職一覧

【略歴】

昭和五四年三月
名古屋大学医学部卒業
昭和五四年五月
名古屋第一赤十字病院
昭和六三年七月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
脳神経外科部長
平成十五年四月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院 病院長

【主要な公職一覧】

(平成二〇年五月現在)
日本脳神経外科学会専門医・指導医
名古屋大学医学部 臨床教授
日本病院会 理事
日本病院会 愛知県支部 副支部長
ほか

次代に残したいこと

最高経営責任者 白川 秀二

前号でもお知らせしましたように、このさわやからいふ通信は、今号をもつて一区切りつけさせていただきます。25年にわたり続けさせていただきましたが、四半世紀という期間に節目というものを感じました。これまでご愛読くださった全ての皆さまに、心より感謝を申し上げます。弊社を立ち上げて以降、

振り返れば苦勞の連続でした。まだ国として介護保険制度を確立する前の創業でしたから、そもそも介護という事業に対する認知がなかったわけですから、そこから介護という事業を知っていただくこと、弊社の存在を知っていただくことが大切であると考え、その手段の一つとしてさわやからいふ

通信の発刊を思い立ったのです。そもそも介護事業とはどういうものか、弊社の経営理念は何か、弊社のスタッフおよびサービスはどのようなものか、どのような顔ぶれが弊社に関わっているのか。こうした事柄を知っていただくための通信でした。そうした目的はこの25年で十分に果たすことができ、一つの役割を終えたという見方も出来るかと思えます。

そして、この通信においても何度か触れました創業時の苦勞を、今一度振り返ってみます。本当に初期の初期は、介護事業という概念すら無い時期でしたから、ボランティア活動の一端のようにみなされてしまったし、一緒に仕事を始め

るといっても、仲間はボランティア感覚だったのです。このため、自身の都合ですぐに仕事を辞めてしまふなど、経営体としては赤字続きでした。それでもなんとか踏ん張って黒字になってきた頃、顧客や資金を持ち逃げされるようなこともありました。こうしたこと以外にも苦難は続いたうえに、この人とならこの仕事を一緒に続けられると確信した方との別れなどもありました。こんな状況でしたから、当時の私は泣いたり悲しんだりしている暇もなく、とにかく前進することしか考えられない心境だったのです。当時は4代になっていました。会社勤めの方の40代なら、徐々に社内での立場も上がり、視

野や交友関係も広がり、部下と上司の間に挟まれる苦勞をしつつも仕事の面白さが深まる時期でしょうか。家庭でも、妻や子どもとの間で色々なことがありつつも、夫として父として充実した時間を過ごすのではないのでしょうか。しかし私は、そのように絵に描いたような40代は無かったのです。実際には当然40代は有りましたが、振り返っても記憶を呼び起こせない表現した方が正確かもしれないとせん。このことは、見方を変えれば、これだけ仕事に集中出来る家庭環境を作ったもらっていたということ、家族には改めて感謝の気持ち伝えたいと思えます。

こんな弊社の経営が安定

し、業績が上向いていくきっかけとなったのが、出口社長を中心とする幹部社員との出会いでした。この通信と同様に、初期の頃から開始した取り組みの一つに、さわやからいふヘルパースクールがありました。スクールというものは、時間をかけて人材を育成するものですから、短期的な利益には寄与しません。このため、経営が苦しい時期には何度もこれをたたき止めたのです。しかし長期的な人材育成の重要性を思い、歯を食いしばって続けていたところ、このスクールを経て弊社に入社してくださった方々の中で役員、社長。今では弊社の屋台骨になっているわけです。あのときスクールを止



めずに良かったと思いますし、スクールをきっかけとした幹部社員の皆さまとの出会いに心より感謝するものであります。

現幹部社員の皆さまは、当時社長であった私に、社内外で起きていることを正確に、かつ迅速に伝えてくれました。ですから私は、弊社の方向性を決める決断がよりやりやすくなり、そして下した決断についてきってくれる皆さんでもありました。ついてくる、などと

簡単な表現をしてしまいましたが、幾多の困難を乗り越えてきたわけで、私に40代の記憶が無いのと同様、幹部社員の皆さまもそれぞれに何か犠牲にしたものがあつたはずです。そうした献身に、改めてこの紙面をお借りして感謝の気持ちをお伝えしたいです。

そして、弊社の経営を軌道に乗せるのに、必ず触れなければならぬのがウィズ社と、それを取り巻く人間関係の存在です。ウィズは、私が商社で働いていたときの工作機械卸の仕事で、商社退職後も続けられるようにするため、弊社と同時期に創業した会社です。一般的な感覚では、一社の創業でも困難を極めるのに、二社創業など常軌を

逸しているはずですが、これを勧めてくださった経営の大先輩がいたのです。この方は、商社時代からの縁で、ウィズ創業後も取引をさせていただきました。結果として、ウィズの資金があつたからこそ、資金難に陥った弊社が救われたことが何度あつたことか。あの先輩の助言は金言だったわけですし、他にもウィズを支えてくださった取引先様を含めて、心から感謝を申し上げる次第です。

私は「さわやかビレッジ」を作りたいという夢を持っています。その村で暮らせば、人は生まれてから亡くなるまで心安らかな一生を送ることが出来るのです。この前身として、弊社が、ご家族も利用者様も幸せに

なる総合サービスを提供出来るようにしたいと考えています。相談から、各種サービスの提供まで、本来行政がすべきことの一端を担う覚悟です。しかし言うは易し行うは難し、大いなる挑戦であることは分かっています。そしてこの挑戦する気持ちこそ、次代に残したいのです。上手いかなかったですら変えれば良いのです。その繰り返しが人と組織を成長させ、成長した弊社が、さらに利用者様もご家族も幸せにします。この想いを次代に託し、筆を置かせていただきます。長きにわたるご愛読に、改めて心より感謝申し上げます。

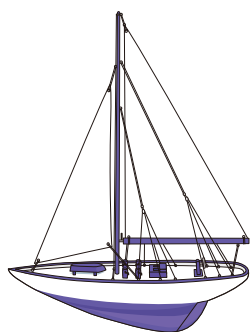
黒田太郎の政経小説

常に挑戦者として

黒田太郎

皆さまこんにちは。さわやからいふ顧問の黒田太郎です。さわやからいふ社の白川代表と話していたところ、なんと今号でさわやからいふ通信は一区切りとのこと。驚きました。そこで白川代表にお願いし、これまでより少し紙面を多くいただき、私の新たな挑戦について書かせていただきましたと思います。

東京大学在学中は体育会のヨット部に所属し、4年時には主将を務め、他の大学から「鬼の黒田」と呼ば



れるほど厳しく部を運営していました。その理由は一つ、落ちぶれかけた部を、かつてのように全日本学生選手権に出られる部にしたかったからなのです。まずは部員の心を変えるところから始め、どの大学よりも練習することで自信をつ

け、全日本学生選手権出場の夢を実現することができました。このように、いわば純粋に一つのことに集中した4年間を過ごし、日本銀行に就職してみると、あまりに様子は違いました。上司のご機嫌を取ることが出世への近道、このような組織風土に馴染めず悩んでいたときに、銀行における

い出会いがあるならば、日銀の閉鎖空間から抜け出す挑戦をして正解だったと心から思いました。

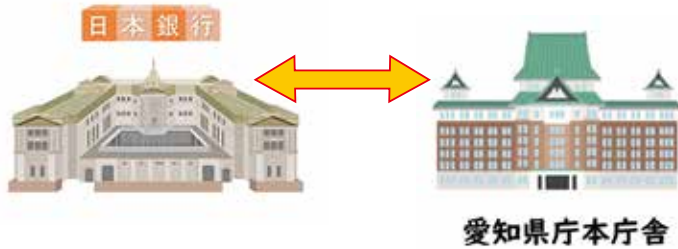
2015年4月に県議会議員に初当選することが出来ました。

銀行に就職してみると、あまりに様子は違いました。上司のご機嫌を取ることが出世への近道、このような組織風土に馴染めず悩んでいたときに、銀行における憧れの先輩であった大塚耕平さんが参議院議員選挙で当選したのです。私は大塚先輩にお願いして秘書にしていたいただき、日銀を辞め、名古屋に来ることになりました。24年前のことです。

このように、議員秘書として仕事をしていると、解できない相談事に悩むことも多かったのですが、素敵な出会いが多々あり、自らの視野が広がっていくのを感じましたし、時折相談事を解決できたときには、相談者が輝く笑顔を見せてくれ、政治は人様を笑顔に出来る仕事なのだと思い出した。そうであれば秘書として控えの立場ではなく、自分自身も議員として独立し、自分自身をもっと磨いて多くの方を笑顔にしたい、そんな気持ちが強まりました。このことを大塚議員に打ち明けたところ、県議会議員への挑戦を許されたのです。約1年間、一心不乱に地域を回った結果、

愛知県議会では、最大会派が自民党であり過半数を持っていて、それ以外の会派が政策実現するのは難しいというのが実情です。私も自民党派ではありませんでしたから、歯がゆい思いをしつつも、議員個人で後の時代に残る実績を残す、これが私の県議としての挑戦でした。こんなとき県庁の幹部職員から相談され、「県庁職員を日銀名古屋支店に出向させることは出来ないか」と言われたのです。理由は、行政職員は予算を組む力はあっても、経済を見る力が弱い。だから優秀な職員を日銀で鍛えてもらいたいのです、ということでした。大変素晴らしい考えだと思いました。だから、私はすぐ日銀名古屋

屋支店に掛け合い、あれこれ調整した結果これが実現することになりました。愛知県庁として日銀に職員を派遣するのは史上初でしたが、日銀としても地方自治体から職員を受け入れるのは史上初。画期的なことであり、お互いが切磋琢磨して成長すれば、必ずや愛知県のため、国のために良い流れが出来るでしょう。



このように、やれる限りのことはやりましたが、壁にもぶつかりました。誤解を恐れずに申し上げると、今の日本の体制は、国で方向性を決め、それを実際に行うのは市町村、都道府県はその中継役なのです。もちろん中継役も極めて重要な役割ではありますが、せっかく政治に携わるなら決める場所に行きたい、このような思いが募り、国政への挑戦意欲が日に日に高まりました。色々と働きかけてみても、県政挑戦のときのようにはすんなりいきません。私にとっては、大塚耕平さんが名古屋市長選挙出馬を公表し、次の参院選に出ないと表明したときが好機に思えました。党本部にも大塚さんの後をやりたいたいに正式に希望を出しましたが、結果は別の方が選ばれました。参議院が無理なら衆議院ということ、県内の選挙区を当たりました。調整は不調に終わりました。そんなとき、党の側から「生まれ育ちが東京のあなたですから、東京で国政に挑戦しませんか」と声がかかったのです。20年以上愛知で政治活動をし、東京でまたゼロからかと悩みましたが、これを逃したら恐らく私に機会は巡って来ない、そんな思いから東京での挑戦を決意したので

す。東京21区（立川市、日野市、八王子市南東部）という選挙区から、本年明けの総選挙に挑みました。結果は残念。しかし素晴らしき出会いや体験があったのです。これぞ白川代表がよくおっしゃっている、「挑戦する者にしか見ることが出来ない景色」なのだと思います。知名度ゼロで臨んだ選挙でしたが、こんな私にも「頑張れ」、「立候補してくれて有り難う」といった温かい言葉が数多く寄せられたのです。自身や仲間の選挙を何度も経験してきましたが、こんなことはいまだかつてありませんでした。こうした方々のお気持ちを無にしてはならない、その一心で党本部に東京21区再挑戦を願い出たところ、今般これが正式に認められたのです。

愛知を離れるのは寂しい、この気持ちも当然あります。しかし私は、誰もが生涯挑戦していける社会を創りたいのです。挑戦は、社会に活気と活力をもたらすと思うからです。そうであればまず自分から。私自身が挑戦者であり続けることで、この社会を切り拓いていく決意です。長くお世話になりました皆さまに、

引き続きのご支援を心からお願い申し上げます。お稿の締めくくりとさせていただきます。誠に有り難うございました。

黒田太郎氏の略歴

一九六七年一月 生まれ
一九九〇年四月 日本銀行入行
二〇〇二年七月 大塚耕平参議院議員秘書
二〇一五年四月 愛知県議会議員
(千種区選挙区)



デイサービス

まほろば中川



カラオケ大会

夏祭り



毎年恒例の夏祭り！今年も開催できました。今年もスイカ割りからスタート。スイカはビニール製のボールなので割れずによく弾みます。たくさん挑戦者がいたスイカ割りの後は、「うちわ落とし」「風船釣り」「輪投げ」の、3つゲームを順番

に遊んでいただきました。みなさん、どのゲームも子供の頃に戻ったかの様に、笑顔で楽しまれました。最後はみんなで輪になって炭坑節を踊り、夏祭りが終わりました。そして熱い中みなさん頑張ったので、身体を冷やすため、おやつにアイスを用意しました。利用者さんからは「子供の頃を思い出すね」「家にいるよ、みんなと一緒にいる方が楽しいね」「飾り付けが素敵だね」「毎年、参加したいね」と楽しんでいただけたようです。また来年楽しみましょうね。



6月には1週間カラオケ大会を開催しました。みなさんには事前に歌いたい曲のリクエストを取り、順番を決めて熱唱していただきました。恥ずかしくて歌唱を遠慮される方も、手拍子や口ずさんだりして参加されました。有名な曲が流れると

大合唱になってしまいみんなが歌いました。カラオケを楽しみに来所された方が、普段とは雰囲気ガラッと変わり熱唱されていました。曲に浸りすぎて泣いてしまう方もいて、それぞれの楽しみ方が見られました。「久しぶりにカラオケで歌を歌えて良かった」「大きな声を出すとスッキリするね」「昔はよく歌いに行ってたね」など、沢山楽しそうに感想を聞かせてくれました。

七夕



うか悩まれる方、次から次へと願い事が出てくる方などいろいろありました。それぞれの願い事が書けたようです。まほろば中川では、「中日ドラゴンズ優勝」「健康第一」が多く見られました。天の川はエアコンの風に揺られて川のような動きが見られ「きれいだね」「飾ってある短冊を読むと楽しいね」「みんな叶うといいね」と七夕を楽しんでいらっしゃいました。



7月の七夕の日には利用者さんに短冊に願い事を書いていただきました。デイサービスのフロア天井にスタッフがお手製の天の川を飾り付け、そこにみなさんの短冊を飾りました。何を書こ

デイサービス

まほろば稲西



夏祭



利用者さんが待ち望んだ、まほろば夏祭りの季節がやってきました。毎年恒例のスイカ割りから始まりましたが、スタッフ手作りのスイカは、なかなか割れないので、今年は力の強そうな方をお願いしました。しかし、スイカは強かった。何度も叩いて割って下さいました。割れたときは大きな歓声が上がリ、みなさんの代表として責任を果たされました。スイカ割りの後は『金魚すくい』と『射的』で楽しんでいただきました

た。金魚すくいはなかなか難しかったのですが、コツをつかんだら次から次へと止まりません。最高獲得金魚は34匹！箱いっぱい金魚にみなさんも大興奮でした。射的の的は祭りで売られている食べ物の絵などを描いて貼り付けました。そうしたら利用者さんから「あそここの焼きがいいよ」とか「上の水風船はどう？」など、応援を聞いているだけでも美味しそう。張り切って眼鏡を準備して挑戦して下さった方もい



て、やる気が半端ないです。しかし的の後ろにある夏祭りの看板に当たり、みなさんの笑いを誘いました。暑さに負けず楽しい夏祭りを楽しめたようです。

七夕



七夕の日には利用者の方々にお願い事を短冊に書いていただきました。大きな台紙に折り紙で作った笹を貼り付け、その笹に短冊も貼り壁紙にして、まほろばの壁に貼り付けました。みなさん何を書こうか迷って

傘玉入れ



梅雨の季節の必需品と言えは傘ですね。そこで、広げた傘を逆さにして、玉入れをしました。傘には折り紙で作った紫陽花やカラフルな雨粒で飾り付けました。傘が大きいから遠くても入るであろうと、普段より離れたところから投げていただきました。利用者さんも普段なら届かないと思うところでも傘が大きいので、沢山の玉が入りました。いつもは優しい方が、凄く力強い投球で驚きました。ジメジメした梅雨の雨を吹き飛ばす事が出来たかなと思いました。



問わず語り

く伝道ポスターの言葉からく

(48)



福岡県豊前市

林河山 明泉寺住職

林川英昭

「問わず語り」とは、だれにも問われることなく自らが話することです。お寺の門前には伝道掲示板があり皆さんにメッセージを発信しています。少し足を止めてその言葉を自分なりに味わってみませんか。

「人間とは 楽を求めて

苦しむ動物である」

皆さんにはいかがお過ごしでしょうか。

に新しい苦を自ら生み出したことになりました。

今年の夏も猛暑でした。これも仏教という苦なのでしょうか。暑い夏や異常気象は地球の温暖化が原因と

お寺の研修会で、参加者に「皆さんはどんな時が幸せですか」と聞いたことがあります。色々な答えがありました。色んな答えがあったりしましたが総じて多かったものが

石油などのエネルギーの大量消費に由来すると思われる。そうですしたら、人間は楽（便利）を得るため

・家族が元気で生活できている
・自分が健康で元気である

る、長生きをする
・収入がある、貯えがある
などです。

自分が思う幸せを得るために努力するのが動物です。さらに人間は、仕事を早く効率的に済ませたい、楽をしたいと欲を大きくします。そんな意欲が蒸気機関などの動力、電気、コンピューター、人工知能（ＡＩ）等々と便利なものを作り出しました。これらは大量のエネルギーを消費し、地球を暖めました。それが人間を苦しめるとしたら、逆説的に不幸の完成になります。

残ったのはその男一人だけです。退屈になった男は、人間に代わる生き物を創造します。ところが、その新しい生き物もやがて殺し合いを始めて滅びそうになる話です。

温暖化だけではありませんが、人間の欲が人間を滅ぼすことになっては人間の幸せはありません。それではどうすればよいかを仏教に学びましょう。

禅に「足るを知る」という言葉があります。人間の欲は青天井ですが、人間これがあれば事足りるところを境界として、それ以上を求めない生き方です。これは人間の欲の深さ（煩惱）を自覚し、その深みにはまらないような抑制的生き方です。適度なところで幸せと思えばよいのです。

しかし、禅の生き方は普通の人間には難しいと思います。それに対して浄土真宗では、普段の生活を送り

ながら、阿弥陀如来のはたらきにより自己中心的なわが身を振り返りつつ、煩惱も苦も私と受け入れ、そのような人間だからこそ救うという如来の力（本願力）により、救われていくことを喜ぶことを幸せとします。

現代は、仏教的な生き方はすっかり隅に追いやられ、欲のままに生活することをよしとしているように感じます。これでは人間はいずれ滅びます。そうならないよう仏の教えを聞いていただきたくこの欄を書かせていただきました。

今回でこのシリーズは終了です。最後に、長い間このコーナーを担当させていただき、また、皆さんの方に読んでいただき感謝申し上げます。特に株式会社さわやかからいふの皆様には大変お世話になりました。今後も皆さんが何らかの仏縁を持っていただければ私にとって何よりの幸せです。

暮らしのはなし

無責任なご先祖様

さわやからいふ通信編集

加藤裕之

今年は雨による水害が大変多かったですね。ここ名古屋も大変な大雨で、栄の中心部でも膝ぐらいの水が溜まりました。最近の水害による犠牲者も出ているとのこと、災害も形を変えて人に襲いかかってきます。少し前だとこのような水害が起ると、異常気象・温暖化が原因か？などと囁子立てるかの様に報道していました。そうだったものが無くなった訳ではありませんが、そんな減ったような感じがありません。台風の進路予想などもスーパーコンピュータを使いますが、それでも各国の予報が全く違います。それはスーパーコンピュータの性能や気象衛星の性能や数によって違うのかもしれませんが。

衛星と言えばこの気象衛星や今では誰もが使っているGPS、通信衛星・軍事衛星など様々な衛星が地球の周りをクルクル回っています。私たちが知らない衛星もきっと飛んでいるでしょう。携帯電話会社などのコマースヤルでも聞くようになったスターリンクというものが一般人が使える時代になってきました。今は限定的に無料ですが、そのうち料金も発生する事でしよう。このスターリンクもインターネットと同様軍事利用も含め一般にも開放された技術ですね。今までの様に基地局が…とか言わなくても空が見えれば通信できるという優れたものだそうです。

世界の軍事情では未だにCO2を天敵のように敵視しています。それは純粹な環境問題でいつているわけではありません。以前にもここで書いたと思いますが、経済的な問題が大きいのです。では、電気自動車(EV)は本当に環境に良いのか、走っているときはCO2を排出しないので良いとされています。しかし、動力源の電気はCO2を排出せず作られているか。電気自動車の心臓部である電池を作るのにCO2は排出していないのか。そもそも環境を破壊しているのはCO2だけなのか。電気を原子力で作れば核燃料廃棄の問題が出てきます。電池を作るためのレアアースにも環境に悪影響を及ぼす物質が存在します。太陽光発電の場合でも太陽光パネルも永久利用できるものではありません。廃棄物として有害なものを含みます。今、日本中に敷き詰められている太陽光パネルもすでに持ち主である海外業者は捨て去り、廃棄物として日本に放置され、それを処分するのは我々の税金です。

最近進歩し実用実験がされている自動車の自動運転でもGPSを使って行きます。その衛星も車のように燃料補給したり長く使う仕様にはなっていないません。寿命が来れば新たな衛星を打ち上げて利用します。古いものはスペースデブリとして宇宙のゴミとなります。月までロケットを飛ばそうとすれば何段ものロケットにわけて飛ばします。最初の1段目とか2段目くらいまでは地球に落ち回収されると思いますが、その先は宇宙のゴミとなります。地上からの観測では1センチ以上のデブリは50〜90万個、1ミリ以上のデブリは1億個以上あると推測されています。宇宙には夢があります。しかし夢の部分だけを見ていては後でつけない子供達です。豊かな生活も良いけどあらかじめ分かっている不都合なことにも目を向けないと無責任なご先祖様になりかねないですね。

編集後記

さわやからいふ通信に携わせていただいて20年以上になります。随分長く関わってきたと感じます。これまで様々な企画を掲載してきましたが、大変なこともありました。しかし、楽しかったなと思いつくことも多々あります。自分が楽しいだけでなく読んで下さる読者の方にも楽しい企画があつたのかな。とか考えることもあります。次号からどのように模様替えするのか今はまだ分かっていません。とりあえず区切りとして迎えた第90号です。私は第4号から担当させていただきました。今後もしもさわやからいふの情報を発信して、読者のみなさんにも有益な情報発信がされる事と思います。



さわやかからいふ

事業所案内



さわやかからいふ本社・中川事業所

- 訪問介護事業 2371000759
- 居宅介護支援事業 2371002177
- デイサービス事業 2371003019
- 介護教育事業 介護職員初任者研修
同行援護従業者養成研修

〒454-0024
 名古屋市中川区柳島町4丁目16番地
 TEL : 052-364-6001 FAX : 052-364-6005
 デイサービス「まほろば」
 TEL : 052-364-6007 FAX : 052-363-6027



中村事業所

- 住宅型有料老人ホーム
- デイサービス事業 2370503514

住宅型有料老人ホーム「さわやかの家 稲西」
 TEL : 052-414-7704
 デイサービス「まほろば稲西」
 TEL : 052-414-7335
 〒453-0849 名古屋市中村区稲西町90番地
 FAX : 052-414-7336

ウイズレント

- 福祉用具貸与
- 介護予防福祉用具貸与
- 特定福祉用具販売
- 特定介護予防福祉用具販売 2371003142
- 名古屋市介護保険
住宅改修費受領委任払 7681000058

〒454-0024 名古屋市中川区柳島町4丁目16番地
 TEL : 052-304-8008 FAX : 052-364-6005



みずほ事業所

- 訪問介護事業 2370800993
- 居宅介護支援事業 2370801231

〒467-0012
 名古屋市瑞穂区豊岡通1丁目25番地
 シャンボール近藤 1F
 TEL : 052-737-6565 FAX : 052-737-6567

さわやかからいふ スタッフ募集

- | | | |
|------------|-------|-------------|
| ①登録ヘルパー | (パート) | [中川・みずほ事業所] |
| ②有料老人ホーム | (パート) | [中村事業所] |
| ③サービス提供責任者 | (正社員) | [中川・みずほ事業所] |
| ④介護支援専門員 | (正社員) | [中川・みずほ事業所] |

採用サイト PC/スマホ

<https://sawayakalife-saiyo.jp>



電話でのお問い合わせは

0120-976-619 まで

さわやかからいふホームページ

<https://sawayakalife.jp>



さわやかからいふフェイスブック

<https://www.facebook.com/sawayakalife>



発行所/
 〒454-0024 名古屋市中川区柳島町4丁目16番地

発行人/
 (株)さわやかからいふ

※ 掲載記事・写真の一部または全部を無断転載することを禁じます。